



第1288回 例会報告（2018年2月27日）

はごろも並木復活大作戦

奉仕部門

■司 会 / 中野 強 SAA

■ロータリーソング / それでこそロータリー

■会長挨拶 / 大泉博典 会長

「はごろも並木復活大作戦」も１９９７年からはじまり２１年をむかえました。３年前から樹木匠の中村講師様より松の植え方を教えていただき、大変よく根つくようになりました。去年は少し天候も悪く少し枯れてしまいました。小学生・中学生のみなさま一人１本ですが、苗木の成長を祈り気持ちを込めて丁寧に植えて下さい。時々ご自分で植えられた苗木を見に来てあげてください。きびしい自然の中で生き抜こうとする生物を温かく見守ってあげてください。それでは皆さんガンバッテ下さい。

■出席報告

例 会 日	会 員 数	出 席 者	欠 席 者	出 席 率
2 月 27 日	12 名	8 名	4 名	66.67%

2週間前の補正後出席率 12名中 8名 66.67%

■例会 / はごろも並木復活大作戦



■ ロータリー活動の広報

クラブ広報は、ロータリーの理念を人びとに伝え、クラブの奉仕活動に対する認識と関心を高めることになります。効果的な広報により、地域のニーズに取り組む信頼できる団体としてのロータリーの存在感が高まります。クラブのイメージが向上すれば、積極的な活動への会員のモチベーションも高まり、会員の増強にも発展していくでしょう。



白砂青松 みんなで守る 鼓ヶ浦海岸で植樹

「白砂青松100選」にも選ばれた釣糸市杵町25番地の松浦海蔵*27日、松本の宮町25番地の小中学生の手で剪断された。

マツクミの被害に負けた、美しい「つる」の松本を未来に残そうと、卒業記念の植樹を兼ねて、植樹している松林青年ボランティアの会、松本市民70人、松浦市の3年約150人、松本地区の参加し、学校別に40人、24人の地区の中にそれぞれ4人が、松を掘り、地上20~30cmになるように植えた。

1987年に発見された白砂青松100選では、最も古い7世祖樹が

並んで選抜された。しかし、最近5年ほどはマツクミの被害が大きくなり、約30本が枯れたという。

松本づくりは、子どもボランティアクラブが90年代に発足してからと始め、最初の7年間で約5000本を植樹した。この活動を引継ぎ継ぐ、と市と地の元松林協会も協力し、病害虫に強い「松」を植えるプロジェクトを立ち上げた。今年3年、植樹に協力している松林協会の中村樹生さん、松本木には樹齢200年近（木太さ）がある。弱っている木があるが、手をかければまだ大丈夫」と話していた。（市報）

2月28日(水)付 中日新聞

2月28日(水)付 朝日新聞